

9月中旬頃ですが、ウキクサの花はほとんど見る事ができません。我々が葉のように見るのは実は葉状体というものです。水田の雑草で爆発的に繁殖し、名古屋地方ではアオウキクサと共に普通に見られます。また、理科の学校教材として、植物における分裂成長の実験材料として使用されます。

7. ガガブタ

ミツガシワ科の浮葉性多年草で名古屋市周辺のため池等で多く見られます。花期は8月頃、白い花を咲かせます。秋から冬にかけて錨状をした殖芽をため池の風下水辺でよく見かけます。この植物は中栄養のため池に群生しています。

8. コナギ

名古屋市内の水田・休耕田などでよく見られます。抽水性の一年草で花期は8～9月頃、紫色の花をつけます。水田雑草ですが食用にもなります。種子で越冬。

9. ヨシ

アシともいうイネ科の抽水性の多年草で種子や根茎で越冬します。名古屋市内のため池や河川の岸辺で群生しています。類似植物に川辺などに生えるオギがあって区別がつきにくいことがあります。ヨシの花期は8～9月頃、種子はタンポポ状の毛が多数あって風によって飛散します。風の強い場所では葉が風下の方向へ一列に並んでいるのが観察できます。

10. ウリカワ

オモダカ科の抽水性の多年草。名古屋市内の水田などで観察できます。種子または塊茎で越冬、花期は7～9月頃で白色の花を咲かせます。ウリカワは水田雑草ですが、かなり農業に強く群生しているのが観察できます。

代表的な水草を10種紹介しましたが、当日は次の45種の水草の説明とスライド映写も行いました。

ウキクサ・ミズキンバイ・アギナシ・ムジナモ・ミジンコウキクサ・コウキクサ・ヒメウキクサ・オニバス・ボタンウキクサ・イボウキクサ・アカウキクサ・アメリカコナギ・ヒメシロアサザ・ヒンジモ (以上、大滝氏提

供)、スイレン・ホタルイ・コウガイゼキショウ・ホソバミズヒキモ・オオフサモ・カキツパタ・イチョウウキゴケ・キショウブ・ショウブ・イ・ヤマトミクリ・ホリカワフラスコモ・ヒメフラスコモ・コウホネ・ヒメコウホネ・ヒメガマ・ガマ・タヌキモ・クワイ・ヒシ・オモダカ・サンショウモ・カンガレイ・ジュンサイ。

おわりに

自然界における水生植物には、どちらかという環境の変化に弱い植物が多く見られるというのは否めない事実でしょう。現在の土地開発や池沿の埋立てなどが更に進行すれば、平地や丘陵地の水生植物は壊滅的な影響が出るのは必至と言わざるをえません。そうした水生植物の生育する自然環境の悪化は回復不可能なものが非常に多いことも忘れてはなりません。水辺の環境は、特異な地域と理解できるでしょう。人間と自然との調和を考えて、生物全般の自然保護のあり方を考える必要性があるのではないのでしょうか。

また、珍しい水草について知識や興味を持つばかりではなく、自然界の生態や水生植物の観察を通じてその環境を学ぶ事が大切です。外部形態の異なる植物が同じ水圏の中で共同生活をしている、その共通点を考える事から本質をうかがい知れることもできると思われまふ。このような水域の中での自然界のしくみの観察と研究を通じて、人間をも含めた生態系の持つ意味を少しでも考えていただければ幸いです。

最後に、大滝氏よりテープ、スライドの提供、浜島氏よりはため池の形状、ウキクサの越冬性についての御教示を頂いたことに感謝の意を述べます。

主な水草の入門書の紹介及び引用書

大滝・石戸著 日本水生植物図鑑 北隆館
大滝末男著 水草の観察と研究 ニューサイエンス社
浜島繁隆著 池沼植物の生態と観察 ニューサイエンス社
水野寿彦監修 淡水生物の生態と観察 築地書館

OH. Muhlberg, "The Complete Guide to Water Plants" (EP Publishing, pp 391, 1982, 約5,300円)

以前に紹介した"Das grosse Buch der Wasser pflanzen"の英訳である。カラー写真が多い。